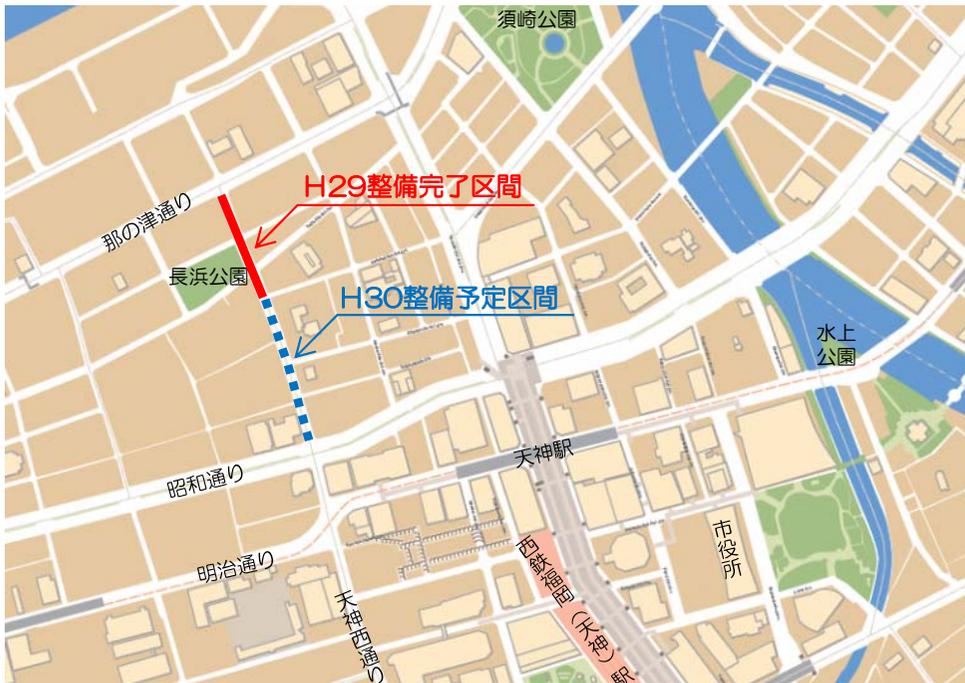


道路のリノベーション（親不孝通り）

- 平成28年3月に地域で発足した、天神・舞鶴「親ふこう通り協議会」（現：親不孝通りエリアまちづくり協議会）と意見交換しながら、「安全安心」「明るく」「きれい」な街づくりを目指して、道路整備を行っています。
- 歩道を狭めていた花壇の撤去による歩道の拡幅や、歩道のフラット化などによるバリアフリー化を行い、快適な歩行空間に再整備。
- 歩行者と自転車を分離するため、車道に自転車通行空間（矢羽根）を設置し、安全な歩行空間を確保。
- 生い茂った樹木を植え替え、明るく開放的な道路空間へと刷新。

■ 位置図



■ 整備状況



- 花壇の撤去，樹木の植え替え
- 歩道の拡幅とフラット化



- 車道に自転車通行空間を整備

■ 通り名の変更

平成12年(2000年)に「親不孝通り」から「親富孝通り」へと通り名が変わりましたが、協議会において住民アンケートを実施し、平成29年(2017年)に17年ぶりに「親不孝通り」の名前が復活しました！！

■ 地域の声



通りがすっきりし、非常に明るくなった。地域としても活気あふれるまちづくりにつなげていきたい。

■ 担当者の声

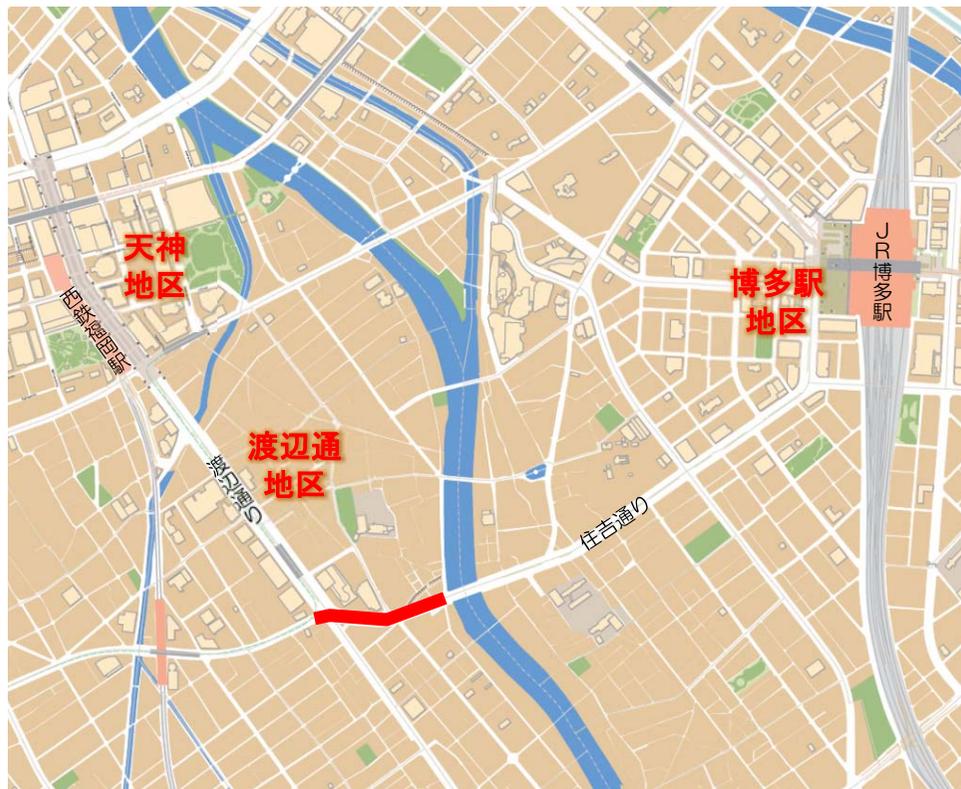


由緒ある親不孝通りの名称にふさわしい整備を目指して頑張っていくバイ。

都心回遊軸の強化（住吉通り）

- ・市内や国内外からの来訪者が**安心して快適に回遊できるよう**、都心の回遊ネットワークの整備を進めています。
- ・住吉通りは、道路が老朽化し凸凹が著しいなど車や歩行者の通行性が悪くなっていたため、天神・渡辺通地区と博多駅地区をつなげる**都心回遊軸として快適に通行できる道路空間に再整備**しています。
(2018年3月整備完了予定)

■位置図



■整備状況



- ・水はけが良く雨天時の視認性が高い排水性舗装
- ・事故防止のため路面をカラー化

- ・水はけが良く景観に配慮した自然色の透水性舗装
- ・自転車通行空間をカラー化

■地域の声



歩道が歩きやすくなり、歩行者と自転車の通行空間が分けられたので安全に利用できるようになった。

■担当者の声



歩行者も自転車も車も安全で快適に回遊できるような、「よか」道路を整備していきます。

※よか：博多弁で「良い」の意味。

来訪者にわかりやすい道案内

■ 都市サインの整備

- ・ 公共施設や観光施設などを訪れる来訪者にわかりやすい道案内をするため、統一したデザインで都市サインの整備を行っています。



福岡市科学館都市サイン（2017年10月整備）

■ 地点名板の設置、英語表記

- ・ 現在地を正確に確認できるよう、信号交差点において地点名板の整備を進めています。
- ・ 外国人観光客へも分かりやすいものとなるよう、従前のローマ字表記から英語表記への改善も進めています。



ローマ字表記

Haruyoshi-koen Intesection



英語表記

Haruyoshi Park Intesection

■ 利用者の声



都心部は右折禁止などでルートがわかりにくいことがあるが、道案内があるため道に迷わずたどり着けた。

■ 利用者の声



日本語がわからない外国人にとって英語表記があるととても助かる。

■ 担当者の声



まちづくりや再開発と連携して、都市サインなど案内標識の整備や更新を進めています。

■ 担当者の声



増え続けている外国人観光客への分かりやすい道案内のため、英語表記を進めていきます。